

第2土曜日(午前10時~午後2時)に、神吉自治振興会館前広場を会場に特産品の販売や地元人形劇サークルによる手遊び、工作、バイオリンなどのコンサート、家庭の

不用品を出し合い必要な方にとって帰っていただく「もったいない市」など、趣向を凝らしたイベントが行われています。当初は数店

だったお店も、地域外からの出店を含め20店程に増え、毎回100人前後の参加者が訪れる取り組み

となつていきます。今後も「人と人をつ結び付ける場所」を提供し、無理せず楽しみながらみんなが「今日も一日楽しかったね」と言える

「風の市」を目指されています。ほかの集落でも、地域行事の継承や河川の環境整備、野菜直売所の運営、夏祭りやサロン活動など、

ふるさとを良くしようという取り組みが行われています。



▲風の市でのバイオリンコンサート

日吉町での取り組み

日吉町は37集落のうち、29集落が限界または準限界集落となっております。

世木地域振興会では枝豆の販路開拓や「集落の教科書」の作成、教育民泊の推進に取り組み、毎年実施している婚活事業では、多くの縁が結ばれています。

中世木区では「棚田ひな祭り」や「せつぶん草祭り」が新しく生まれ、イターンも3組あり、目標と

されてきた「子ども」の声や聞こえる「里」となりました。

殿田地域ではお能の一門・梅若家ゆかりの地として、梅若屋敷の整備や小学校でのお能教室開催など、伝統文化の継承に取り組みされています。



▲上保野田区のエゴマ栽培ほ場

五ヶ荘地域では、「住みよいむらづくり協議会」が立命館大学と連携し、野菜市カフェやオーブン

ダイなど、旧小学校施設を利用した催しを開催されており、地域に定着しつつあります。

ほかに、新シ区では未耕作地でのニンニク栽培、上胡麻区では

会議所法面への芝桜の植栽、上保野田区では健康に良いエゴマの栽培、東胡麻区では中世に建てられた「野化館跡」の勉強会など、さまざまな取り組みが行われています。

美山町での取り組み

美山町は57集落のうち、52集落が限界または準限界集落となっております。

下区では、「長寿を目指す里」をテーマに、伝統食である「鯖のなれ寿司・へしこ」の製造販売、

戦国時代の下村城跡の整備と観光資源の発信、伝統行事「不動尊の滝まつり」の継承、さらには炭焼き窯の復活など、多岐にわたって

取り組まれています。取り組みを通して、区民同士が絆を深めることで、健康で生きがいのある、長寿の里づくりが進んでいます。また、豊郷地区では桑畑の再生

を通して京都市内の子どもたちと交流を深める「京都桑田村」の取り組み、栃原区では栃餅づくりを通じた元気な里づくり、音海区では

長老ヶ岳登山道新設の取り組み、檜原区では日本最古の石田家住宅の整備と誘客活動が行われ、多くの集落で誇りや自慢、笑顔が広が

っています。



▲鯖のへしこをつくる下区の皆さん

「集落活性化の取り組み」

活動報告会

今回ご紹介した以外にも、地域を元気にしようとして、各地域でさまざまな取り組みが行われています。実際に活性化に取り組んでいる地域(団体)による活動報告会を行いますので、ぜひご参加ください。

日時：平成31年3月16日(土)

午後1時30分

場所：日吉町生涯学習センター
内容：地域(団体)による事例紹介